



自衛隊新潟地方協力本部

10年ぶりに岩船港に艦がやってきた！ 多用途支援艦「ひうち」艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 村岡史朗）は4月13日（土）・14日（日）の両日、村上市の岩船港において、舞鶴警備隊多用途支援艦「ひうち」の艦艇広報を実施した。

13日は、募集対象者や公募当選者に対して特別公開を行い、14日は会場に來場した見学希望者に対して一般公開を行った。

特に14日の一般公開では10年ぶりの寄港を待ちに待った來場者で終始40分待ちの長蛇の列ができた。乗艦を待つ間、「ひうち」の乗組員による信号ラッパの披露が行われた。信号ラッパとは日々の様々な日課や号令を知らせるために吹奏されるもので、その号音を合図に乗員は行動を開始する。訓練を受けた隊員が吹奏する信号ラッパの響き渡る音色に、來場者から大きな拍手が送られた。

一般公開は上甲板から艦橋まで行われ、艦の任務や役割、特徴について説明を受けた。広報ブースでは「護守印」が人気を博した他、海上自衛官の制服を試着して「ひうち」をバックに笑顔で写真撮影をする來場者で溢れかえった。見学の最後には來場者一人ひとりが「ひうち」の乗組員に対するメッセージを思い思いに書き入れた寄せ書きが、「ひうち」にプレゼントされた。

來場者は「船も乗組員の方たちもかっこいいですね」「実際に船を見学できて感激しました。募集の説明を聞いて海上自衛官への憧れが益々強くなりました」と笑顔で話していた。

新潟地本は「今後も艦艇広報を通じて、自衛隊に対する理解を深め志願者獲得に繋がっていききたい」としている。

